・基本

名詞（N） V-C-C-V 核
修飾詞（A） C- -C、名詞に周置する
動詞（V） -V- 名詞から派生、CCの間に入る。

apri 人
s--r 綺麗な、見ていて美しく感じる
-a- 第一派生形動詞（能動態、{核}になる、にする）を形成する

apri 人
saprir 綺麗な人
saparir 綺麗な人になる、する

・動詞節修飾

動詞節修飾による呼応：修飾される名詞は修飾する動詞の動詞派生母音+u/iが付く、呼応していればどこにおいてもいい。

ugra 言葉
ugara 話す
sugarar 美しく話す
apauri sugarar 美しく話す人

・修飾とピッチ

ピッチ：ピッチのない語は全部低ピッチである。(C)V1C(V2)CV3(C)が名詞インスタンスであり、V1に高ピッチがあると修飾体、V3に高ピッチがあると名詞の被修飾体になる。修飾体は直前か、呼応する節の直後の被修飾名詞を修飾する。

epsa 腕輪
epsá ápauri sugarar 美しく話す人の腕輪

修飾体が動詞との呼応をしている場合、それは副詞として扱う。
ápauri sugarar. 人らしく美しく話す

・動詞派生の一覧

派生形名	母音	例
第一派生形動詞 （能動態、{核}になる、にする）	-a-	ugara 「話す」
第二派生形動詞 （受動態、{核}をされる）	-i-	ugira 「話される」
第三派生形動詞 （可能形、{核}ができる、なれる）	-u-	ugura 「話せる」
第四派生形動詞 （命令、{核}をしろ、なれ）	-e-	ugera 「話せ」
第五派生形動詞 （義務、{核}しなければならない、ならないといけない）	-o-	ugora 「話さねばならない」
第六派生形動詞 （意思、{核}したい、しなければならない）	-ä-	ugära 「話したい、話さないといけない」
第七派生形動詞 （否定、{核}しない、ならない）	-ë-	ugëra 「話さない」
第八派生形動詞	-ï-	ugïra
第九派生形動詞	-ü-	ugüra
第十派生形動詞	-ö-	ugöra